

プラットフォーム「人と共生する京都生物多様性推進会議」（仮称）について

【背景】

かつての里地里山では農林業など日々の生業の中で独特の生物多様性が保たれてきたが、昨今の人口減少、生活様式の変化、農林業の衰退などにより、その生物多様性は衰退が進み、それらを保全する活動もその持続性に関して多くの課題を抱えている状況である。

こうした保全を持続可能なものとするためには、里地里山の資源利用と保全を適切にリンクさせ、保全のための活動が生業と結びついていく必要がある。

【趣旨】

里地里山の自然資源の利活用と保全をテーマとして、様々な分野（観光業、商工業、農林水産業、文化、教育、環境保全など）の関係者がアイデアを出し合うプラットフォーム。

生物多様性保全に関係する活動を、産業・文化・教育などにおける資源利用と結びつけ、活動を持続可能なものとすることを目的とする。また、そのための普及啓発も推進する。

※将来的にはこれらの機能は「生物多様性センター（仮称）」が担う予定。

【目標】

里地里山における保全活動と資源利用のマッチングによる新しいモデル事業の創出

【開催時期】

- ・令和元年度に3回程度（11月～1月頃）
- ・まとめとして、シンポジウムを開催（2月頃）

【参加者・参加形態】

- ・分野を問わず、自然資源の保全・利活用に関心のある企業・団体・人（各回20人程度）
- ・各回にテーマを設定し、テーマに沿った講師を迎え、参加者を交えて議論・交流を行う。

【ロードマップ】

- ・令和元年度：プラットフォーム（3回）、シンポジウムの開催
- ・令和2年度：モデル事業の開始
- ・令和3年度：事業の成果の取りまとめ、発信

